



木とともに 学び育つ



社会福祉法人

恩徳福祉会

—令和 10 年 4 月開園予定—

幼保連携型認定こども園「野田みらいこども園（仮称）」について（概要）

「豊中市立野田こども園」の民間移管に伴い、これまで大切にされてきた地域に根ざした子育て支援の役割や、公立園としての良さを引き継ぎながら、新しい園舎を建設し、令和 10 年 4 月に「野田みらいこども園（仮称）」として開園する予定です。子どもたちや保護者の皆さま、地域の方々に親しまれる園をめざしてまいります。

1. 法人の概要

- ・法人名： 社会福祉法人 恩徳福祉会
- ・理事長： 岡田 宗修
- ・設立： 1990 年 3 月
- ・本部： 大阪府吹田市岸部南 1-4-24
- ・職員数： 1,457 名（令和 7 年 12 月末時点）
- ・法人施設：大阪府、兵庫県、沖縄県、滋賀県に病院、介護施設、こども園・保育園、子育て支援センター、児童発達支援事業所、インターナショナルスクール、就労継続支援事業等、117 カ所の事業所を運営しております(2026/4/1 時点)。

<法人施設例>



<法人の保育・子育て支援事業>

<類型>	<施設名>
認可保育所	・よしたけ保育園（那覇市） 定員 90 名
公私連携保育所型 認定こども園	・樋川みらいこども園(那覇市) 定員 116 名 ー付設) 子育て支援拠点事業ていーら ー付設) 一時預かり事業

小規模認可保育所	・すみえ保育園（大阪市） 定員 12 名 ・こっとな保育園草津（草津市）定員 19 名 一付設）一時預かり事業
インターナショナル・プレスクール (認可外保育施設)	・ Rainbow Rose International School 吹田校 定員 78 名 一付設）児童発達支援事業所 Rainbow Rose 吹田 ・ Rainbow Rose International School 藤井寺野中校 定員 63 名 一付設）児童発達支援事業所 Rainbow Roseh 藤井寺野中

2. 教育・保育理念

「のびのびと楽しく過ごし、自分で感じ、考え、失敗を恐れず、
何度も挑戦し、大きな夢をみる」



のびのびと楽しく過ごす



自分で感じる



失敗を恐れず挑戦する

生まれてから 6 年間のこども園の生活は子どもたちの人生の基礎となる大切な時期です。毎日の繰り返しの中で習慣が出来、それが習性となって個性になっていきます。人格も、ある日突然出来るのではなく、やはり積み重なってきた習慣（考え方も）が人格となるのではないのでしょうか。「子ども時代を子どもらしく生きる」ことを支え、この時代の“今”を明るく元気に過ごせるようにしたいと考えています。周囲の人（保護者、保育者等、子ども達、地域の人たち）や自然など環境に関わりながら、子どもが自分から遊びを見つけ、工夫し、創造力を働かせて遊びこめる保育を基本とします。

3. クラスの特色

<乳児クラス>

「特定の保育教諭との安定した関係」のもとで、安心して生活できる環境を整えます。丁寧な応答的関わりの中で基本的信頼感と自己肯定感を育み、幼児期へとつながる土台を築いていきます。一人一人への丁寧な関わりにより、子どもに満足感や安心を感じてもらいたいと考えます。特定の保育教諭との愛着関係のもと、一人一人への働き掛けや対応が変わることがないように、食事、排泄、着脱などを同じ手順で援助し、安心して、子どもが過ごせるようにしていきます。



<幼児クラス>

・子ども主体の保育

大人の指示によって動くのではなく、子ども自身が興味を持ったことに没頭できる環境を整えます。探求心や自己肯定感を高めるために、＜構造＞＜台所＞＜机上＞＜休息＞の4つのコーナーを設けて活動できるようにしていきます。

・自然とのふれあい

園庭での泥遊びや水遊びのほか、野菜の栽培、散歩での動植物の観察などを通じて、五感を十分に活用する力を育てます。

・食育の充実

食材に触れる体験や、自分で野菜を育てる栽培活動などを通じて、食への関心や感謝の心を育てます。



4. 野田みらいこども園の定員数

(令和10年4月)

① 1号認定子どもの定員

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人数(A)				1	1	2	4

② 2・3号認定子どもの定員

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人数(B)	6	15	18	21	25	25	110

合計(A+B)	6	15	18	22	26	27	114
---------	---	----	----	----	----	----	-----

5. 当法人こども園の特徴

(1) いのちと木育

当法人では、「いのちと木育」として、自然の命の尊さに触れながら木とともに学び育つことを大切に考えています。木に親しむ体験を通して、命の循環や環境への感謝の心を養うと共に、自然に親しみながら、五感を養います。



(2) 室内遊びと木のおもちゃ(保育室)

年齢ごとの「年間おもちゃ計画」に基づき、手指等をしっかりと使い、木のおもちゃや知育おもちゃ等で想像力豊かに遊び込む時間を確保します。



(3) 命・人権を大切にする教育

子ども一人ひとりが大切にされていると感じ、「自分のことが好き」と思える心を育みます。また、四季の変化や生き物たちとの関わりを通して自然や命の大切さに気づくとともに、偏見や性別等にとらわれず誰もが自由に選択・体験できる環境を整えます。さらに、絵本の読み聞かせを通じて、性別や地域、国籍、言語等、様々な違いについて子どもたちと共に考えることを大切にします。



(4) 支援の必要なこどもへの対応

一人ひとりのこどもの育ちや特性を丁寧に捉え、保護者の皆さまや関係機関と連携しながら、園全体で継続的な支援を行います。園には特別支援の担当者を配置し、保護者の願いやこどものニーズを踏まえて、長期的な視点で個別支援計画を、3 カ月ごとに個別指導計画を作成し、具体的な目標や関わり方、環境の工夫などを職員間で共有し、日々の保育の中で実践します。こどもの様子や変化を記録・振り返り、必要に応じて支援方法を見直ししながら、次の支援につなげていきます。また、保護者の皆さまの思いや悩みに寄り添い、丁寧に話を伺いながら、安心して相談していただける信頼関係づくりを大切にします。



(5) 児童発達支援事業所 Rainbow Rose の利用

児童発達支援事業所を同一施設内で運営しているため、在園児は園生活を送りながら無理なく療育を受けることができます。例えば、午前中は園のクラスで過ごし、給食後に施設内の Rainbow Rose で療育を受けた後、再び園生活へ戻ることで、園生活と療育を切れ目なくつなげた支援を行います。こどもの「困った」をその子らしさとして大切に受け止め、個性や力を活かせるよう丁寧に寄り添います。



(6) 食育とアレルギー対応

給食は自園調理で、和食を中心に提供します。栄養面だけでなく、「おいしく・楽しく食べること」を大切にし、行事食や園庭での菜園活動などを通じて、望ましい食習慣と「生きる力」を育みます。アレルギー対応については、厚労省ガイドラインや法人マニュアルに基づき、保護者・主治医と連携しながら、安全に配慮して対応します。



〈連絡先〉 社会福祉法人恩徳福祉会
保育こども園部 開園準備室
電話：06 - 6265 - 0105
E メール：ontoku-hoiku@ontoku.or.jp



(恩徳福祉会 HP)